

2024年（R6）年度 認知症看護対応力向上研修 ファローアップ研修報告書

開催日時；令和 7 年 1 月 25 日（土）9：00～12：20

開催形態；オンライン（Zoom）

申込者数；67 名 欠席者 5 名（参加者会員：45 名、非会員：19 名）

運営担当；岡本充子、飯山有紀、齊田綾子、熊倉季穂、酒井久美子

老年看護政策検討委員会政策委員；黒河内仙奈、星美鈴、村松真澄、山元智穂

テーマと講師；

【日常倫理に基づく認知症ケア 外来における令和 6 年度診療報酬改定
認知症ケア加算の見直しからみる認知症ケアのポイント】

日向 園恵（日本赤十字社石巻赤十字病院 看護部/老年看護専門看護師）

【日常生活援助の中の認知症看護 病棟における令和 6 年度診療報酬改定
認知症ケア加算の見直しからみる認知症ケアのポイント】

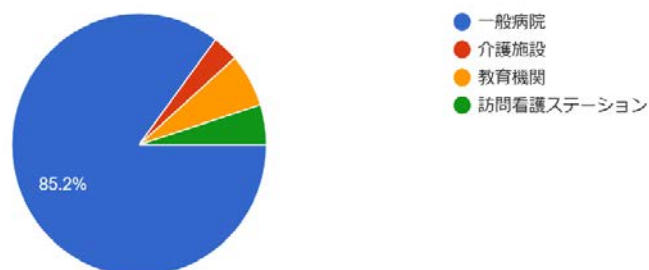
熊倉 季穂（江別市立病院 副看護師長/認知症看護認定看護師）

アンケート結果・感想（回収数 61、有効回答数 61、回収率 96.8%）

1.学会の有無

学会員 19 名（31.1%）、非会員 42 名（68.9%）

2.勤務先



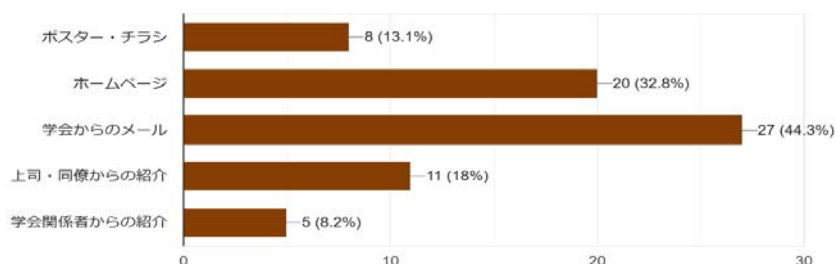
3.職種

看護師 59 名（96.7%）、教員 4 名（6.6%）、大学院生 0 名

4.看護師経験年数

10 年以上 57 名（93.4%）、5 年以上 10 年未満 4 名（6.6%）、5 年未満 0 名

5.研修を知ったきっかけ（複数回答可）



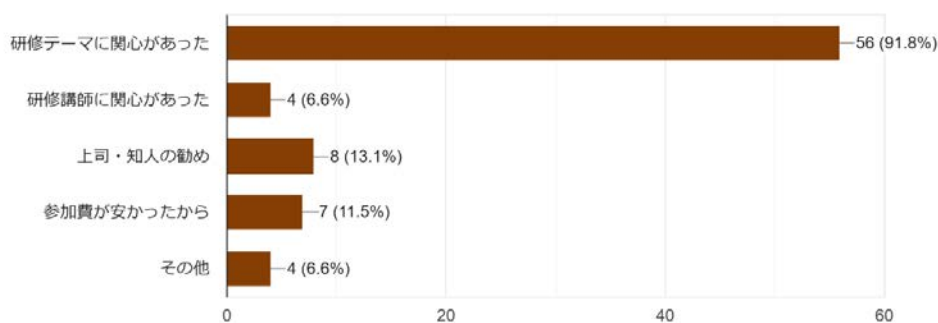
6.研修開始時期

良い 56 名 (91.8%)、どちらとも言えない 5 名 (8.2%)、悪い 0 名

(理由)

- ・年末や年度末は何かと多忙になりやすく、時期として参加しやすかった
- ・業務的にも安定している時期
- ・学会時期と重ならなくて、助かった・他の研修が重ならない時期だった
- ・次年度に向けての課題を整理できる
- ・年度末で、来年度に向けて新たに意識付けができる
- ・土曜日の午前中が業務上参加しやすかったため
- ・月初でも月末でもなかったこと。土曜日は時間がとりやすい。
- ・半日だと予定が組みやすい
- ・zoom で参加しやすく、時間帯も良かった。
- ・学会への参加を促すのに、もう少し前でもよいかと思ったため
- ・年度の前半など早めの時期に設定であれば参加や他のメンバーへの参加の勧誘がしやすい
- ・年度末は何かと忙しい ・年度末に研修が集中している

7.受講動機 (複数回答可)



8.参加費

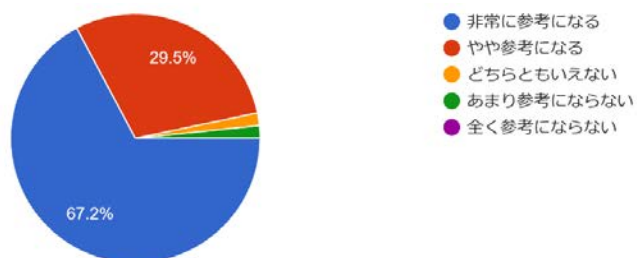
ちょうどよい 56 名 (91.8%)、もっと安くしてほしい 4 名 (6.6%)、

もっと高くしてよい 1 名 (1.6%)

9.研修が期待通りであったか

はい 58 名 (95.1%)、いいえ 3 名 (4.9%)

10.研修は今後の看護の参考になると思うか



(理由)

- ・充実した内容でした。GWでも今後の実践に活かせるヒントとなり良かった
 - ・研修後、参加者がどのように病院（病棟）に持ち帰り活動しているのか共有できた
 - ・他の病院や施設の取り組みや悩みを知る事ができたから。
 - ・講義の中で、患者さんの行動の意味を考えたり、入院前の生活背景を知ったり、ご家族にも話を聞くことで、認知症患者さんが安心して穏やかに過ごすことができると思いました。
 - ・倫理的課題を考えながら、実践・指導をしなければならないことを、GWを通して考えることができたため
 - ・講師の先生のお話がとても分かり易かった。自分の悩みと同じ悩みをもちながらも、様々な仕組みを作られていること、尊敬します。
 - ・頑張りが伝わったから
 - ・他施設の取り組みを知ることができた。また頑張ろうとやる気が出る。
 - ・講義では講師の経験や思いを知る事でより具体的なイメージを抱きながら学ぶ事が出来た
 - ・認知症に関する多面的な考えやケアの知識が得られるアットホームで親しみやすかった。
 - ・診療報酬改定で入院基本料に組み込まれていることを再認識した
 - ・他の病院での取り組みを聞く事は、とてもすぐに実践に活用でき、助けになります。
- 改めて、御二方の先生による御講義を視聴して学ぶことができたこと、他の専門職の方々とグループワークを通して価値観の共有や悩みや課題についての解決策を導くことができました。
- ・病院の GCNS と DCN の活動の具体を知ることができ、良かった。
 - ・この対策がベストと言い切れるものがない。他施設の取り組みや同じ悩みを共感出来たことと、認定看護師からの意見は納得性があり今後も共有出来る機会があればいいと感じた。
 - ・自県でも、研修修了者の活用を課題としたいと考えているため

・療養病棟だとなかなか適応にならない事も多かった

・看護という視点は同じだが、医療機関での取り組みが多かった。

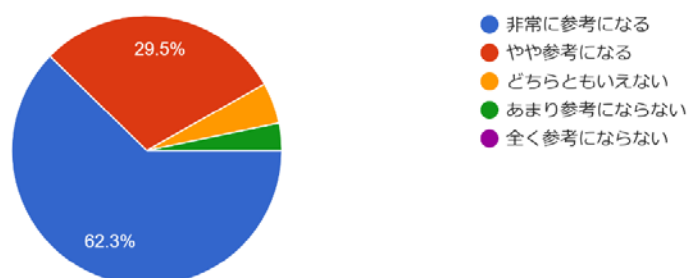
・知りたかった事が聞けなかった

・グループディスカッションは不要だと思った

・チラシの読み込みが不十分だったのかもしれませんが、期待していた内容とは異なった。

基本的な内容が多く、フォローアップとしての内容を期待していたので。

11.グループワークは今後の看護の参考になるか



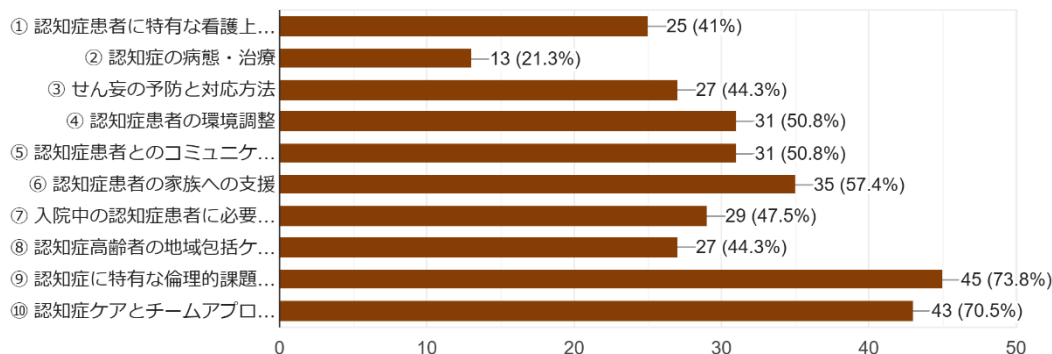
(理由)

- ・講義だけではなく、様々な地域・病院の方と意見交換をすることができ、貴重な経験になりました。
- ・認知症看護におけるチーム医療の実践に当たり、大切なことを再認識でき、リフレクシオンについて学ぶことができたため
- ・様々な施設で働く、看護師同士で、高齢者の方に質の高いケアを受けていただきたいという共通認識を持っていることが話し合いから伝わり、嬉しかったです。
- ・マインドが近く、立場が似ているグループメンバーの中で建前でなく本音のワークができたので、それを臨床で活かせると思った。
- ・思いつかなかった方法を知ることができた。自施設でも取り組めそうな内容もあり、検討できそう。
- ・同じ悩みをもっていると安心した
- ・現場で良いケアをしていく中で、変革をする場合に様々な立場の方からの視点で意見交換をすることができた
- ・それぞれ悩みながらも努力していることがわかって勇気ももてたから
- ・病院、施設、学校など様々な視点からの問題や対策を聞く事ができたため
- ・グループメンバーの取り組みを知り、仲間意識が高まった。自分の反省としては、グループワークの課題についてより具体的に考えをまとめて参加する必要がある。
- ・言語化することが大切で、次につながりそう。
- ・身体拘束を外すことが正しいと思っていたが、外せなくても外せないことに対して申し訳ないと思える気持ちが大事ということを知ることが出来た
- ・横のつながりができる
- ・CNS、CNの管理的な視点が少しワークに水を差したように感じたため
- ・テーマが曖昧でディスカッションしにくかった。
- ・電波状況が悪くグループワークに参加できなかった。
- ・全員が発言できていなかった。テーマ2つが厳しかったかもしれない
- ・なかなかまとまりにくいところ。
- ・あまり参考と思える事案が無かった

12.今後も本学会主催の研修に参加したいと思うか

思う 54名 (88.5%)、どちらとも言えない 7名 (11.5%)

13.取り上げて欲しい研修テーマ (複数回答可)



14.上記以外の希望テーマ

- ・ 多職種をどう巻き込んでチームとして活動していくか・協働する仲間の意識
- ・ 高次機能障害
- ・ 認知症の方に対するケアを多職種でと言うが、職種間で温度差があり多職種協働が難しい。
- ・ 身体拘束最小化について。上記を会員だけでなく案内しているところが良いと思います。
- ・ 認知症初期集中支援チームの活動
- ・ 在宅系
- ・ 本人と家族看護
- ・ 施設での認知症高齢者の身体管理や認知症高齢者の身体疾患の予防できるケア
- ・ 認知症カフェの立ち上げと内容、集客について
- ・ 身体拘束最小化に伴う認知症患者に生じる倫理的課題

15.研修への御意見・御感想

・ 昨年、県の看護協会の研修を受けました。研修終了後の所属部署にて看護実践を行いまとめたことで今回の研修に参加することができたことはとても良かったと感じております。

・ 大変貴重なご講義とグループワークの機会をいただきありがとうございました。臨床を離れて時間が経ちますが、自分が臨床にいたころよりもチーム活動が増えていたり、認知症ケアに関する専門的知識をお持ちの方が増えている一方で、まだまだ同じ状況(スピーチロックや対応の困難さ)は変わらず残っているという印象を受けました。学生たちに現場の困難さを伝えながらも、ケアの本質を考えられるように教育していきたいと改めて考えさせられました。ありがとうございました。

・ 診療報酬と紐づいた内容だったため、自己の病院の課題と考えながら講義を聞くことで、今後の対策について考えていくことができました。また、認知症看護の実践において大切な基本や倫理的課題についてあらためて認識することができました。

・日向先生講義 せん妄の予防を外来から始めて、実際にせん妄が減らせたこと。素晴らしいと思いました。ポリファーマシー対策も興味深いです。熊倉先生 認知症看護として、日常生活援助の中から入院前の様子を把握すること、想像することの大切さがわかりました。全体をどうして、短時間で実りのある研修が受けられ、とても満足しました。

・自分の通信環境が不安定で何度か切断してしまい、何度か大事な話を聞くことができず残念でした。もう少しグループワークの時間があればもっと具体的な課題の共有などができたのではないかと思います。

・病院として今年度の計画に組み入れて複数名参加させていただきました。申し込みの段では運営の方にご迷惑をおかけしてしまいました。グループワークでのグループ分けでも役職者は別々のグループへ、非役職者を同じグループに割り振っていただく配慮があったと思います。ありがとうございます。来年度も年度の計画にフォローアップ研修を組み入れて予算を確保しております。

・認知症看護ケアを病棟でどのように展開していくか悩んでいたのが話聞いて良かった倫理的に認知症の方を、尊重できていない風潮がなかなか変えられず、地道にスタッフやトップに教育しながらロールモデルとして示していき、同じ考えの仲間を増やして認知症ケアを向上させていきたい。

・対応力向上研修に参加したスタッフは院内に複数名いるが、活動の実態や学びを活かした行動ができていないか知る機会がない。院内でもフォローアップ研修の開催を企画する必要があると実感しました。上層部に相談してみます。ありがとうございます。

・質問にもあったが、せん妄件数のカウント方法は知りたかった。

・グループワークの時間が足りなかった。グループの人数を4名くらいにしたら、この時間内でも深まったかもしれない。

・日向先生、熊倉先生、組合委員の方々ありがとうございます。同じ病院の方が3人いたのでもう少し他の病院の話を知りたかったなと思いました。グループワークが認知症ケアから身体拘束メインになってしまったのですが、認知症ケアの面でももう少し話し合う時間が欲しかったです。事前準備が足らず各々事例を持ち寄って具体的な悩みの相談も出来ると良かったかなと感じます。全体的にふわっとした患者像で想像しづらい面もありました。認知症ケア加算についてはまだまだわからなかったもので、噛み砕いていただけると助かります。

・初めてで戸惑ったが、若いナースが頑張っておられ心強かった

・期待していたのと違って、グループワークが辛かった

・グループワークにありがちな、時間配分や全員発言のルールなどをしっかり提示していただいたかった。司会の方が私見を述べるのが長かった。

・グループワークの内容を事前に知っておきたかった

・今回の研修の企画および運営をして頂いた関係者の方々に深く感謝致します。

講師への質問時間がもう少しあると良いと感じました。講師の紹介などはスライドで見れ

るので割愛するなど工夫することや、グループワークのグループ数の人数を減らせば時間の確保ができると思います。グループワークの決め方は年齢役職など考慮してもらえると助かります。病院の現場勤務が一人だったのもう少し情報共有をしたかったところです。

- ・認定看護師の更新実績となるよう修了書や受講証明書を交付していただけるのは大変ありがたいと思います。

- ・研修資料にグループワークのテーマを入れてもらえるとわかりやすかったです。

- ・他施設の状況を知ることができ、認知症ケアに対するモチベーションの維持に繋がった。

- ・ワークに関わる事を事前にお知らせしておいてくださると、ワーク開始時のまごまごした時間がもう一言聞けそうでした。沢山の情報を得る事ができました。

- ・画面の乱れがあったり、研修はじめの方で参加証を発行するように案内されていましたが結局どのように発行されるのかの案内がなかったりして、少し戸惑いました。